

# 令和8年度の宮津市行政 施策・予算に関する要望

令和7年11月  
宮津商工会議所

令和7年11月19日

宮津市長 城崎 雅文 様

宮津商工会議所

会頭 今井 一雄

### 令和8年度の宮津市行政施策・予算に関する要望

平素は、宮津商工会議所の事業活動に対し、格別のご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

宮津市におかれましては、宮津商工会議所創立70周年記念事業にご支援いただくとともに、宮津市商工業振興補助金の増額による財政支援を賜り感謝申し上げます。

また、中小・小規模事業に対しましては、DX対応や創業支援、そしてプレミアム付商品券事業などの各種支援措置を講じていただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、中小・小規模事業者におきましては、大変深刻な人手不足に加え、物価や原材料費の高騰、さらに昨年を上回る最低賃金への対応をはじめ、依然厳しい経営環境におかれています。

こうした中、当会議所では、融資制度の斡旋や補助金申請のサポート、専門家による各種個別相談による経営支援のほか、創業、事業承継への対応など中小・小規模事業者に対する支援に取り組んでまいりました。

中小・小規模事業者は、特に「原材料・燃料価格の高騰対策」、「持続的な賃上げ原資の確保」、「深刻化する人手不足への対応」などが大きな課題となっております。

宮津市におかれましては、宮津経済の活性化に向けて、これまで以上に官民の連携を強化し、施策の推進にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、令和8年度の予算編成に向けて、以下の項目を要望いたしますので、特段のご配慮をお願いします。

# 1 中小・小規模事業者への支援について

## (1)宮津市利子補給金交付制度の拡充について

コロナ関連のゼロゼロ融資の返済が本格化する中、物価高騰や人手不足、最低賃金の改定等により、資金繰り悪化が一層増加しており、さらに、金利上昇の影響も加わり、中小・小規模事業者にとっては大きな負担となっております。

当会議所が実施したみやづ経済ダイジェスト(7月～9月)を見ると、全ての業種で売上高、収益はマイナスとなっており、こうした厳しい経営環境を背景に、資金繰り対策としてマル経融資の相談・利用が増加しております。

つきましては、事業者の実質的な負担軽減を図る観点から、宮津市におけるマル経融資に対する利子補給制度の拡充、とりわけ補給期間の延長および補給率の引き上げをお願いします。

また、現在の宮津市利子補給金交付制度では、対象融資が創業関連融資、マル経融資、温泉施設整備資金に限定されていることから、そのほかの京都府の中小企業制度融資や日本政策金融公庫の融資を利用した際の「支払利子」及び「信用保証料」についても新たに補助制度を創設していただきますようお願いします。

## (2)原材料高騰やコスト増加の影響を受ける事業者支援の強化について

長期化するエネルギー価格や原材料価格の高騰・さらに昨年を上回る最低賃金の引き上げにより、中小・小規模事業者の経営環境は一段と厳しさを増しています。

特に、価格転嫁が困難な事業者においては、コスト増加が直接的に収益を圧迫しており、今後も物価高騰の傾向が続くことが予想されます。

このように深刻な経営状況下にある市内事業者のコスト負担を軽減し、安定した事業継続を下支えるためには、早急かつ効果的な支援が不可欠です。

つきましては、市内事業者の光熱費を軽減する助成金制度や運輸車両等にかかる燃料費を補助する制度を創設いただき、各事業者が安心して経営に専念できる経営環境の整備を強くお願いします。

### (3)起業・創業並びに事業承継に対する支援について

当地域においては、ビジネスを始めたい若年層や定年後のセカンドキャリアとして起業したい傾向が増えております。

こうした中、当所における創業相談はコロナ前の平成30年度の年間37件と比較して、令和6年度では年間141件と相談件数が大幅に増加しております。

近年、宮津市の創業等支援事業補助金は予算額を上回る申請相談や京都府の起業支援事業補助金の相談も増えていることから、当地域において創業者や第二創業者等への起業・創業のきっかけとなる重要な支援施策となっております。

つきましては、「宮津市創業等支援事業補助金」の継続・拡充をお願いするとともに、地域での起業・創業後の経済波及効果を鑑みて年間を通じて営業ができない住宅宿泊業(民泊)の制限や市内に常勤スタッフがいない事業の制限などについて検討をお願いします。

### (4)中小・小規模事業者のデジタル化の推進支援について

中小・小規模事業者が企業の変革と生産性向上を実現するため、デジタル化・DX化の推進は待ったなしの急務となっております。

しかしながら、物価高騰や最低賃金の上昇によるコスト増大が利益を圧迫し、十分な設備投資が滞っているのが実情です。

特に、DXの基本機器であるパソコンについては、令和7年10月にWindows10のサポートが終了となるにもかかわらず、更新コストの捻出が困難なため、重大なセキュリティリスクを抱えながら使用を継続せざるを得ない事業者が散見されます。

令和7年度は「宮津市事業者DX対応支援補助金」を通じてご支援をいただいておりますが、こうした事業者の喫緊のセキュリティ課題を踏まえ、DXの基盤整備に不可欠なパソコンの条件付き補助対象経費の要件緩和について、事業者の実情に即した弾力的な運用を強くお願いします。

[条件例]

- ソフトウェアとの同時更新
- 「SECURITY ACTION」自己宣言の申請要件の追記

## 2 人手不足に伴う雇用対策の強化について

宮津市は人口減少、少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少に加え、若者の市外流出に歯止めがかからない状況が続いています。

こうした中、ハローワーク宮津の9月の有効求人倍率は2.43倍となり、京都府内で最も高い数値となっており、大変深刻な人手不足の状況となっています。

また、当会議所が本年9月に実施した「人手不足への対応に関する緊急アンケート調査」によると、回答者(101社)の46.5%の企業が人手不足と回答しており、その影響や懸念事項として、売上の減少や商品・サービスの質の低下、残業時間の増加などが挙げられています。人手不足に対して求められる支援策の項目では、「市内就職者(定住)への支援」が45.5%と最も多く、次に「求人広告への助成」が20.8%と回答しています。また、外国人雇用の状況の項目では、21%が「現在、雇用をしている」、「今後、雇用の予定」、「雇用を検討している」と回答していることから、今後は外国人雇用が一層、進むものと考えております。

こうした状況を踏まえ、人手不足に伴う雇用対策の強化をお願いします。

### (1)若者の地元定着及びU I ターン就職促進について

人口減少が加速する中、地元高校生の市内企業への就職やU I ターン就職を促進し、定住や人手不足の確保につなげるため、『就職奨励金助成制度』の創設をお願いします。

[助成対象]

- 市内高等学校等を卒業又は中退後、市内の企業に就職された方
- U I ターンにより市内企業に就職された方 など

### (2)人材確保に対する支援について

宮津市では、移住促進などの対策をいただいているものの、人手不足が深刻化しており、市内事業者の安定的な雇用確保を促進するため、『人材確保支援補助金』の創設をお願いします。

[補助対象]

- 就職情報サイトへの求人情報・広告等の掲載に要する経費
- 従業員の能力開発の向上を目的とする資格取得に要する経費
- 社宅又は社員寮整備に要する経費(空き家活用加算) など

### (3)外国人労働者の受入体制の強化について

外国人労働者を雇用する事業所が増加する中、監理団体への手数料や労働環境整備に伴う費用負担、社宅等の確保をはじめとした生活面のサポート、日本語コミュニケーションなど様々な課題を抱えており『外国人労働者受入環境整備補助金』の創設をお願いします。

〔補助対象〕

○外国人労働者の受入に要する経費

○社宅又は社員寮整備に要する経費（再掲） など

併せて、外国人労働者を対象とした日本語教育や地域コミュニティでの交流の場づくりなど生活面や文化面を含む定着支援をお願いします。

### (4)キャリア教育(職業教育)のより一層の充実と支援について

本市の人口減少が進む中、社会減の大きな要因として、高等学校卒業後に進学や就職による市外流出が大きな課題となっております。

当会議所では、高等学校卒業後やU I ターンにより地元企業へ就職していただくためには、小学校、中学校、高等学校での「ふるさと教育」を基盤とした「キャリア教育」の充実が重要であると考えています。

つきましては、宮津市において小学校、中学校の「ふるさと教育」・「キャリア教育」の一層の充実を図っていただきますようお願いいたします。

併せて、当会議所が実施しております海洋高等学校等のキャリア教育活動事業への支援をお願いします。

## 3 宮津商工会議所会館の土地賃借料の免除について

商工会議所は、商工会議所法に基づき商工業の総合的な改善、発達を図ることを目的として、設立された極めて公益性の強い特別認可法人であります。

こうした中、当会議所の会館は自前ですが、敷地は宮津市所有地であり年間 526,000 円の賃借料を宮津市にお支払いしております。

京都府北部地域の商工会、商工会議所は、市町から会館敷地を借地している場合、公益性の強い団体であることから、土地賃借料は免除されています。

つきましては、当会議所が極めて公益性の強い団体であることをご理解いただき、土地賃借料の免除について特段のご配慮をお願いします。

## 4 商工会議所会館整備の「小規模企業振興基本計画」に基づく支援について

令和7年3月に小規模企業振興基本計画（第Ⅲ期）が閣議決定され、基本計画の重点施策14では、国と地方公共団体との連携強化が掲げられており、商工会議所における支援体制を強化するため、経営指導員等の人件費の確保に加え、商工会館の施設整備費等の事業費確保などが明記されました。

こうした中、当会議所の会館につきましては、昭和48年建築され、50数年の年月が経過し老朽化が進んでおり、耐震化調査や施設改修、そして蛍光灯の製造等の終了（2027年度末）に伴うLDE化への対応が大きな課題となっております。

現在、京都府商工会議所連合会から京都府に対して、会館施設整備を経営改善普及事業での予算措置を要望しておりますが、宮津市におかれましても、宮津市商工業振興補助金に規定されている商工会館の改修・修繕における補助率の引き上げや対象事業費100万円以上の引き下げ、そして事業内容に耐震化調査を追加していただきますよう特段のご配慮をお願いします。

## 5 創立70周年記念・「まちづくり提言書」について

当会議所の創立70周年記念式典(6月1日)において、今井会頭から城崎市長に手交しました「まちづくり提言書」・『日本海の真珠／宮津へ』につきましては、今後の宮津市観光まちづくり施策に反映していただきますようお願いいたします。

## 6 「宮津燈籠流し花火大会」への補助金増額及び人的支援について

宮津燈籠流し花火大会実行委員会が主催し、宮津市と宮津商工会議所が協働で支援する宮津燈籠流し花火大会は、宮津の誇るべき伝統文化行事として市民に親しまれるとともに、多くの来訪者で賑わうなど地域振興に寄与しています。

しかしながら、近年の原材料費や物価高騰は、本大会の開催にかかる費用、特に花火費安全対策費等の高騰、そして本年10月3日に宮津警察署から本実行委員会に提出された申入書を踏まえると、今後の経費や人員体制の増加が見込まれる状況であります。

つきましては、宮津燈籠流し花火大会を次世代に継承し、持続発展していくため、現状をご理解いただき補助金の増額及び宮津市からの人的支援(交通部会・輸送部会等)をお願いいたします。

## 7 タクシー供給量の確保について

当地域のタクシーは、ビジネスや観光はもとより高齢者の通院や買い物に欠かせない移動手段として、地域の経済や社会、日常生活を支えています。

観光需要が回復する一方、人口減少に加え、人手不足や働き方改革といった社会変化の中で、当地域のタクシー運行台数は減少するとともに、予約廃止など様々な課題を抱えています。

こうした中、飲食店や観光事業者から夜間の時間帯によっては、タクシーの利用が難しい状況であるとお聞きしております。

つきましては、タクシー事業者へタクシー供給量の確保に努めていただけるよう働きかけをお願いするとともに、多様な交通手段の確保に取り組んでいただきますようお願いいたします。

## 8 特急「はしだて」の増便・増結及び特急「こうのとり」の延長運転継続について

当地域ではインバウンド需要の回復とともに、外国人観光客の鉄道利用者が増加する中、京都駅発・天橋立行き特急「はしだて」の指定席が運行日によっては京都駅で満席となり、利用希望者が乗車できない状況があるとお聞きしております。

つきましては、京都駅から利用希望者が乗車できる環境整備と当地域への更なる観光振興を図るため、JR 西日本に対し特急「はしだて」の増便・増結を実施していただけるよう関係機関と連携し働きかけをお願いいたします。

併せて、特急「こうのとり」福知山から天橋立駅間延長運転が9月21日をもって終了しましたが、引き続き利用者の利便性向上を図り、宮津市への国内外からの来訪者をさらに増加させるため、天橋立駅まで延長運転していただけるよう JR 西日本に対し関係機関と連携し働きかけをお願いいたします。

## 9 宮津港・阿蘇海を活かした観光振興及び「府道天橋立線」の高潮対策について

当会議所におきましては、宮津港・阿蘇海を活かした観光振興を図るため、みなとオアシスを宮津湾・阿蘇海に拡大し、海上交通ネットワークの構築による新たな周遊観光や宮津港(沖止め)へのクルーズ客船寄港誘致、そして乗客の乗下船場所(栈橋)の整備が大変重要であると考えております。

こうした中、宮津市におかれましては、江尻栈橋の工事完了や丹後郷土資料館のリニューアル等を見据え、宮津港湾全域へみなとオアシスを拡大し、活用していくための「宮津港湾活用ビジョン」を策定中とお聞きしております。

つきましては、ビジョン策定と事業の具現化を加速していただきますようお願いいたします。

また、昨今の気候変動による阿蘇海の高潮により天橋立に繋がる「府道天橋立線」が冠水し、8月7日には通行止めになるなど観光客のみならず地域住民の生活にも支障が生じており、抜本的な対策を京都府と連携して講じていただきますようお願いいたします。

## 10 まちづくり・活性化要望について

次の要望事業につきましては、宮津市の地域活性化・産業振興を図る上において、重要なまちづくり・都市・交通基盤整備等の事業であります。

つきましては、関係団体等と連携しつつ整備促進に向けて宮津市ご当局としてお取り組みいただくとともに、国及び京都府への働きかけを強力に行っていただきますようお願い申し上げます。

### 【要望事業】

- 天橋立の世界遺産登録の促進（継続）
- 旧宮津エネルギー研究所跡地の企業誘致の促進（継続）
- 京都府立医科大学北部医療センターの整備促進（継続）
- 国道178号(宮津市日置地区～伊根町)強靱化対策の促進（継続）
- 山陰近畿自動車道(京丹後大宮IC～豊岡市)の整備促進（継続）
- 京都縦貫自動車道4車線化(園部IC以北)の推進（継続）
- 宮津港へのクルーズ客船の寄港誘致の推進（継続）
- 京都府立海洋センター及び栽培漁業センターの整備推進（継続）
- 京都府立海洋高等学校の「黒潮寮」の新築整備の推進（継続）
- 島崎・浜町エリアの民間活用による再開発の推進（継続）
- 国道178号栗田トンネルの整備推進（継続）
- 「みなとオアシスたいみやづ」のエリア拡充(宮津湾全体及び阿蘇海)及び乗下船場所(栈橋)の整備推進（継続）
- 「府道天橋立線」の整備促進（新規）

〔参考〕 令和7年8月 高潮による「府道天橋立線」の冠水

